



今年度教育費予算では、「かつしか教育プラン（2019～2023）【葛飾区教育振興基本計画】」に基づき、より必要性の高い施策に予算を重点配分しました。このページでは教育費予算の概要と、主な施策をご紹介します。

葛飾区ホームページには、より詳しい施策の説明がありますので、そちらもあわせてご覧ください。

令和元年度（平成31年度） 教育委員会予算概要・主な施策

令和元年度（平成31年度） 教育委員会 主な施策

【葛飾学力伸び伸びプランの推進】

指導室 8,069 万円

校長が自校の学力の実態に即して策定した学力向上プランを支援し、児童・生徒の基礎学力の定着と向上を図ります。また、各学校で策定したプランのうち、より成果が高く、波及効果の見込まれる取組みを区内小・中学校に広げていきます。

【チャレンジ検定】

指導室 115 万円

義務教育終了までに身に付けるべき基礎・基本を中心とした学習内容「かつしかっ子チャレンジ」の国語、算数・数学、英語、体力を各学年で設定、この定着に向けた「チャレンジ検定」を実施していきます。

【体力向上のための取組み事業】

指導室 2,155 万円

子どもたちの基礎体力向上のため、全校で統一した目標に向けた「かつしかっ子チャレンジ（体力）」を実施し、運動に取り組む機会を作ります。小学校では、チャレンジ検定（体力）のチェックカードを作成し、日常生活の中で検定を実施するとともに、すべての小・中学校において、創意工夫した取組みを推進していきます。

また、小学校では、学校の実態に応じた体力向上の取組みや東京2020大会に向けて意識の高揚を図る「葛飾体力伸び伸びプラン」を実施するとともに、中学校においては、「トップアスリート派遣事業」等の取組みの充実を図ります。

これらの取組みにより、自ら運動・スポーツに親しむことができる「運動好き」の子どもたちを育成します。

【学校施設を活用した放課後子ども支援事業】

放課後支援課 25,026 万円

すべての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができる環境を各小学校内に整備します。

今年度は、渋江小学校内への学童保育クラブの整備に向けた調査・設計の委託を進めます。

【課外活動指導員】

地域教育課 7,130 万円

中学校の部活動指導にあたる教員の減少や異動による部活動の体部又は廃部を防ぐため、学校と連携を図りながら地域顧問指導者又は地域技術指導者を配置するとともに、地域顧問指導者の謝金月額引上げ及び地域技術指導者の謝金の一月当たりの支給上限額を廃止して、部活動の円滑な運営を支援します。

また、部活動の指導・運営に係る体制を構築するため、地域指導者を対象とした研修については、教員の初任者研修と同様に部活動の位置付け、教育的意義、生徒への指導方法等の内容に加えて、いじめ、体罰、人権に関する内容についても取り上げることで、地域指導者の資質向上を図ります。

【学校施設の改築】

学校施設整備担当課・学校施設課・学務課 463,492 万円

適切な学習環境を確保できるよう、学校規模の適正化や老朽化の状況などを踏まえ、地域バランスを考慮しながら学校改築を進めます。

今年度は、改築・改修を進めている6校のうち、東金町小学校の新校舎建設工事に着手するとともに、高砂けやき学園高砂小学校・高砂中学校、西小菅小学校の改築・改修に向けた工事を開始します。また、小松中学校、本田中学校の新校舎建設工事を引き続き進めます。

さらに、次期改築校7校のうち、水元小学校、道上小学校の基本構想・基本計画の策定に取り組むほか、その他の学校についても改築に向けて検討を進めます。

【教育情報化推進事業】

学務課・指導室 167,556 万円

グローバル化や情報化など急激な社会的変化の中で、未来の創り手となる子どもたちが、これからの時代に求められる資質・能力を確実に身に付けることができるよう、学校におけるICT環境の整備、授業及び校務におけるICTの活用等、教育の情報化の推進を図ります。

今年度は、令和2年度からの本稼働に向けて次期学校教育総合システムを構築します。また、小学校に大型提示装置を導入し、授業におけるICT機器の活用を推進します。

【学習センターの整備】

学務課・指導室 12,557 万円

放課後等に学校図書館を活用し、児童・生徒が図書やタブレットPCを使って自学自習する場を提供します。学校司書の配置時間数を増やし、授業において学校図書館を活用した調べ学習等の充実を図るとともに、ブックトークなどを行い、読書活動の充実を図ります。

また、長期休業日中に学習センターを利用する生徒の学習状況を見守ることができる人材の配置などを検討していきます。

【学校体育館への冷暖房機器の設置】

学校施設課 13,666 万円

安全で適切な教育環境を確保するため、また、災害発生時における地域の避難所としての機能を向上させるため、学校体育館に順次冷暖房機器を設置していきます。

今年度は、中学校の体育館に冷暖房機器を設置します。

【スポーツ施設の利用しやすい環境整備】

生涯スポーツ課 92,327 万円

スポーツ施設を安心して利用できるよう、老朽化に伴う改修や、利便性・安全性を向上させるための計画的なスポーツ施設の改修などに取り組む、安全で快適にスポーツができる環境を整備します。

今年度は奥戸総合スポーツセンター大小体育室天井改修工事や東京2020大会で正式種目となるスポーツクライミングの施設建設のため、設計及び建設工事などを行います。